


令和3年度 さいたま市立尾間木中学校 学校関係者評価書

さいたま市立尾間木中学校

学校関係者評価委員長 齋藤 一男 

1 学校関係者評価の実施体制

(1) 構成人数

6名

(2) 実施回数

3回

2 学校関係者評価（学校関係者評価委員の意見等）

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響により、本年度も交流活動が行えなかったことは残念だったが、学校だよりや、映像、実際の授業を見せていただき、子どもたちが制限の中でも、生き生きと意欲的に学習や行事に取り組む姿を見ることができた。特にタブレット端末を活用した授業が増えていることが印象的だった。
- (2) 学校評価アンケートの結果をふまえ、様々な制約の中だが、地域と学校と協力する機会、参観の機会や援助する機会が増えることを期待している。また、より充実した教育活動をPDCAサイクルの中で展開していくため、アンケートをとる時期を吟味してもよいのではないかと考える。来年度も学校便りやホームページなどをさらに有効に活用して、情報を伝えていきたい。
- (3) 今後も、コロナ禍における工夫した教育活動を展開してほしい。ご尽力くださっている先生方に敬意を表すとともに、子どもたちの健全な成長のために、できる限りの協力をしていきたいと考える。

学校関係者評価を受けた学校の対応

今後も新型コロナウイルス感染症における対応を、教育委員会からの指導を根拠に教職員の共通理解のもと進め、生徒や保護者、地域の発信を行い、理解を得ながら進めていく。保護者や地域の方々から本校に対する支援、想いを受け止め、その期待と信頼に応える学校を目指して「地域に開かれた学校づくり」に一層力を入れて取り組んでいく。

- 1 改めて個に応じた指導、生徒に寄り添う生徒指導や教育相談の実現に向け、校内研修等を充実させ、教員同士が研鑽をはかりながら、「『あい』のあふれる尾間木中」を目指す。
- 2 タブレット等のICTを有効活用し、授業を中心としながら、子どもたちが学校生活における楽しさや豊かさを実感し、たくましく成長を遂げることを目指していく。
- 3 働き方改革について教職員全員で考え、業務の配分の工夫や効率化等に取り組むことで、教職員が生徒と向き合う時間を確保していく。
- 4 いじめ防止の取組については、積極的生徒指導の充実を各教科、道徳、特別活動を中心に行い、生徒の自己肯定感を高める教育を推進する。

さいたま市立尾間木中学校長 野平尚彦 